

# 仕 様 書

一般財団法人救急振興財団  
救急救命東京研修所

この仕様書は、一般財団法人救急振興財団 救急救命東京研修所（以下「研修所」という。）が発注する宿泊手配等業務委託について、その基本的事項を示すもので、本業務委託は仕様書並びに契約書に基づいて実施する。

## 1 件名

平成 30 年度宿泊手配業務委託

## 2 委託期間

契約締結日から平成 31 年 2 月 28 日(木)まで

## 3 委託業務概要

本事業は、前・後期研修生の研修期間が重複する平成 30 年 9 月（以下「平成 30 年度重複研修期間」という。）及び平成 31 年 2 月に実施する平成 30 年度国家試験対策授業期間（以下「平成 30 年度対策授業期間」という。）に研修生を近隣地域のビジネスホテルに宿泊させる手配の業務委託を行うもの。

## 4 宿泊期間

### (1) 平成 30 年度重複研修期間

#### ア 予定宿泊期間及び予定宿泊数

平成 30 年 9 月 4 日（火）～平成 30 年 9 月 28 日（金） 24 泊 25 日

#### イ 予定宿泊人員

300 人

### (2) 平成 30 年度対策授業期間

#### ア 予定宿泊期間及び予定宿泊数

平成 31 年 2 月 11 日（月）～平成 31 年 2 月 16 日（土） 5 泊 6 日

#### イ 予定宿泊人員

300 人（後泊予定者あり）

※ 予定宿泊数及び予定宿泊人員については、減少する場合がある。

## 5 委託内容

### (1) 確保するホテル

別添の宿泊手配等業務委託に係るホテルリストから選択すること。

なお、確保するホテルは「平成 30 年度重複研修期間」及び「平成 30 年度対策授業期間」の両期間とも同じホテルとすること（研修生に割り当てる部屋についても可能な限り同じとすること。）。

また、リストに記載のないホテルを選択する場合には、事前に研修所と協議すること。協議の結果、選択することを認めたホテルについては、速やかに通知を行う。

(2) ホテル数及び部屋数

ア 研修生が分散しないよう確保するホテル数は最小にすること。

イ 確保する部屋数は、1ホテルあたり30室以上とすること。

(3) ホテルの内容

ア ホテルから研修所までの通学時間が短くなるよう近距離のホテルを確保すること。

イ 確保する各ホテルは、概ね部屋の仕様が同等であること。

(4) ホテルの仕様

ア シングルルームであること。(部屋の広さは10㎡以上とすること。)

イ 朝食は、ホテル内で提供し、午前6時30分までに利用が開始できること。

ウ ホテル内若しくは近隣にコインランドリーの施設があること。

エ 室内には、通常一般客が宿泊する際の設定備と同等以上の設備が設置されていること。

(机、椅子、デスクライト、テレビ、冷蔵庫、電話、シャワー・リンス、タオル、バスタオル、ドライヤー等)

(5) ホテルの割り振り

たばこの禁煙・喫煙に配慮した割り振りを行うこと。

(6) ホテル宿泊時及び引き揚げ時において、研修生の荷物搬入・搬出について、ホテル側と調整を図ること。

6 企画提案書について

企画提案書には、下記の内容を記載すること。

(1) 当該宿泊期間ごとのホテル及び確保した部屋数

(2) 部屋の広さ (㎡)

(3) 施設、備品等の設置状況

(4) 朝食のメニュー (和・洋が選択できる、和洋バイキング等) 提供を開始できる時間

(5) 研修所までの所要時間

(6) その他必要な事項

7 見積価格

見積書には、宿泊料金(1泊朝食付き、消費税及び地方消費税の税込み価格)に委託手数料の率(%)を加算したものを、1泊当たりの宿泊料金として見積価格を記載すること。

8 契約相手方の決定方法

企画提案書及び見積価格による競争とし、「予定宿泊料金以下の者のうち」参加業者から提出される「企画提案書の内容」を総合的に審査し、契約相手方を決定する。

9 契約の締結

上記8により決定された業者とは、宿泊単価に予定する数量(予定宿泊人員×予定宿泊数)を乗じたものを上限額とし、すみやかに契約を締結する。

## 10 対価の支払い

宿泊単価に実際の数量（実際の宿泊人員×実際の宿泊数）を乗じた金額を支払う。なお、前払金については、受託業者決定後に協議の上、決定するものとする。

## 11 特記事項

- (1) 平成30年度対策授業期間の予定宿泊期間及び予定宿泊数は、救急救命士国家試験の実施予定日（平成31年3月10日（日））をもとに設定しているため、試験日が予定日以外の日となった場合には、変更となる可能性がある。
- (2) 本仕様書に明記されていない事項について、疑義が生じた場合は、研修所と協議の上、速やかに解決すること。
- (3) 積算資料

次の前提で算出すること。

ア ホテルから最寄り駅までの徒歩は、毎分80mとする。

イ 電車区間別所要時間は次のとおりとする。

区 間	所要時間
JR 八王子駅～京王南大沢駅	22分
JR 相模原駅～京王南大沢駅	13分
JR 淵野辺駅～京王南大沢駅	18分
JR 古淵駅～京王南大沢駅	21分
JR 町田駅～京王南大沢駅	24分
JR 上溝駅～京王南大沢駅	17分
京王橋本駅～京王南大沢駅	5分
京王多摩センター駅～京王南大沢駅	4分
高幡不動駅～京王南大沢駅	28分
立川北駅～京王南大沢駅	39分
京王調布駅～京王南大沢駅	22分
京王東府中駅～京王南大沢駅	35分

【備考】 JR 橋本駅～京王橋本駅の乗り換え及び多摩センター～京王多摩センターの乗り換えは、それぞれ5分で計算

ウ 京王南大沢駅～東京研修所までは、徒歩12分とする。